



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601		
科目名	危機管理基礎演習 I		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1312	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H [理論的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 B1 自己啓発（5%） C1 倫理的思考・社会認識（5%） E1 学識と専門技能（10%） F1 探求と論拠（25%） F2 課題解決（10%） H1 論理的思考（10%） I1 理解・分析と読解（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） M1 総合的・応用的学修（5%）		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する多様な研究分野の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な、危機管理学に関する基礎的な演習を行います。専門基幹科目における法学系科目や専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの各領域の危機管理系科目を担当する教員が、それぞれの研究分野における研究の手法について指導します。ここでの学びが、ゼミナールでのより専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本演習では、危機管理上の諸問題の背景や原因の特定からはじめて、その解決に向けた研究計画の立案、集团的な研究の遂行や、その成果のプレゼンテーションによる表現までを一通り行うことを目標にします。		

	本科目では、危機管理上の倫理的諸課題について考察し、その成果を発表原稿としてまとめ、他者との議論を通じて自らの考察を深めることを目指します。 ■キーワード 危機管理、レジュメ作成、プレゼンテーション、ディスカッション、ゼミナールへの橋渡し ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。						
授業の趣旨	■副題 危機管理上の倫理的諸課題を考える ■授業の目的 危機管理上の倫理的諸課題を考察し、その成果を発表原稿としてまとめ、他者との議論を通じて自らの考察を深めることを目的とします。この授業では、とくに危機管理政策を支える理念や価値観に関する分析・考察に重点を置き、対立する価値観相互の間でいかにして合意を形成し、問題解決を行うことができるのか、その具体的事例を取り上げて研究を行います。 ■授業のポイント この授業では、テキスト読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、ディスカッションを通じて、①探求力・課題解決力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピテンスの開発を行います。また、危機管理の諸課題を深く考察するなかで、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚をもつこともめざします。						
総合到達目標	■一般目標（GIO） 危機管理上の倫理的諸課題について考察し、その成果を発表原稿としてまとめ、他者との議論を通じて自らの考察を深めることができる。 ■個別行動目標（SBOs） ・テキストを読解し、その要点を発表原稿としてまとめることができる（第2回～第15回）。 ・自らの考えを文章として論理的に表現し、発表することができる（第2回～第15回）。 ・他の学生と意見交換（対話）を行うことができる（第1回～第15回）。 ・危機管理上の倫理的諸課題について分析・考察することができる（第2回～第15回）。						
成績評価方法	■プレゼンテーション 2回（55%）：適用ルーブリック B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1 （評価の観点） レジュメの内容（テキストの要点や自分の考察結果が適切に論述されているか）、プレゼンテーションの技法（聴き手に分かりやすく発表できているか）を中心に評価します。 （フィードバックの方法） 授業内に全体あるいは個別にフィードバックします。 ■授業参加度 15回（45%）：適用ルーブリック B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1 （評価の観点） グループ・ディスカッションに積極的に参加しているか、授業内課題（リアクションペーパー）において自らの考えを適切に論述しているかなど、演習授業への積極的な参加度を評価します。 （フィードバックの方法） 授業内に全体あるいは個別にフィードバックします。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	演習形式の授業ですので、発表者は自身の担当回に責任をもって発表を行い、発表者以外の学生も議論に積極的に参加してください（無断欠席は厳禁です）。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 シラバスの内容に関する説明を通して、授業の全体的な概要を理解する（各自の担当箇所についても決定する）（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（60分） シラバスを事前に精読する。 ④復習（60分） 今後の授業に備えて、本日の説明内容について復習する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ テキスト講読（1）担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第1章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッション </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 シラバスの内容に関する説明を通して、授業の全体的な概要を理解する（各自の担当箇所についても決定する）（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（60分） シラバスを事前に精読する。 ④復習（60分） 今後の授業に備えて、本日の説明内容について復習する。	2	①授業テーマ テキスト講読（1）担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第1章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッション
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 シラバスの内容に関する説明を通して、授業の全体的な概要を理解する（各自の担当箇所についても決定する）（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（60分） シラバスを事前に精読する。 ④復習（60分） 今後の授業に備えて、本日の説明内容について復習する。						
2	①授業テーマ テキスト講読（1）担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第1章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッション						

	を行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第1章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
3	①授業テーマ テキスト講読（2） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第2章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第2章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
4	①授業テーマ テキスト講読（3） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第3章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第3章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
5	①授業テーマ テキスト講読（4） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第4章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第4章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
6	①授業テーマ テキスト講読（5） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第5章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第5章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
7	①授業テーマ テキスト講読（6） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第6章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第6章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
8	①授業テーマ テキスト講読（7） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第7章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第7章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
9	①授業テーマ テキスト講読（8） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要

	教科書の第8章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第8章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
10	①授業テーマ テキスト講読（9） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第9章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第9章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
11	①授業テーマ テキスト講読（10） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第10章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第10章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
12	①授業テーマ テキスト講読（11） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第11章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第11章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
13	①授業テーマ テキスト講読（12） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 教科書の第12章について、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 教科書の第12章を事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
14	①授業テーマ テキスト講読（13） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 指定するテキストについて、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 指定するテキストを事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。
15	①授業テーマ テキスト講読（14） 担当者による発表とディスカッション ②授業概要 指定するテキストについて、担当者が報告を行ったうえで、グループ・ディスカッションを行う（B1、C1、E1、F1、F2、H1、I1、K1、K2、M1）。 ③予習（60分） 指定するテキストを事前に通読する。担当者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 報告内容およびディスカッションの内容をふりかえり、各自の考察をさらに深める。

関連科目	①演習系科目としては、「ゼミナール」への橋渡しの意味をもちます。 ②講義科目については、「哲学１・２」「論理学１・２」「宗教学１・２」「比較宗教・文化論」と関連します。
教科書	加藤尚武（編）『環境と倫理 自然と人間の共生を求めて 新版』有斐閣、2005年 ※教科書は毎回の授業で使用しますので必ず購入してください。
参考書・参考URL	授業内に適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に伝えます。 ■オフィスアワー：開講時に伝えます。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%：パブリックセキュリティ25%：グローバルセキュリティ25%：情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 法学10%：危機管理学90%

